

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ

Network Now

2023 No.566

2 / 1

情報
<https://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL. 03-4226-2211 FAX. 050-3153-1519



第85回 臨時総会 開催される (Web併催)



2022年12月3日(土)午前10時より、第85回臨時総会が本会事務局会議室とWeb会議システムを併用して開催されました。代議員の出席確認ならびに投票は、Web会議システムを用いたオンラインによる方法で行われました。また総会傍聴者向けにYouTubeでも中継配信されました。

総会次第ののっとり園田優理事進行の下、富田博信副会長による開会の辞に続き、上田克彦会長からあいさつがありました。続いて総会運営委員会 山本英雄委員長から委任状ならびに議決権行使書に対して、定款第18条に基づき本総会の成立が告げられました。また総会議事規程第13条第2項に基づき、鈴木雅博代議員(福島県)、須川孝一代議員(北海道)の2人の議長立候補者があり、賛成多数で承認されました。

議長の議事進行により4つの議案が審議されました。第1

号議案「定款改正(案)について」は、役員および会計監査人、財産および会計の変更、また第2号議案「総会議事規程改正(案)について」は、採決の順序の変更について江藤芳浩副会長から説明がありました。第3号議案「役員選任規程改正(案)について」は、理事および監事選出の方法、会計監査人の選任の変更、また第4号議案「役員の報酬等並びに費用に関する規程改正(案)について」は、常勤する役員の報酬や、会員外の役員の報酬などの変更について江藤副会長から説明がありました。いずれの議案も賛成多数で承認されました。

最後に、児玉直樹副会長より閉会の辞が述べられ、本総会は無事に終了しました。

詳細な内容は、会誌2022年11月号「第85回臨時総会資料」ならびに会誌に掲載予定の第85回臨時総会議事録(抄)をご参照ください。

日本診療放射線技師会 ホームページリニューアル の実施

2023年2月、日本診療放射線技師会のホームページがリニューアルされました。今回のリニューアルでは、パソコンの他にスマートフォンやタブレットからも快適にご利用いただけるスマートフォン対応のレスポンスサイトへと変更、また検索しやすいようにカテゴリー検索が追加されました。以前のサイトと比較し、使いやすいサイトとなっております。会員の皆さまには、今後ご利用いただきますようお願い申し上げます。



新ホームページ トップページ(カテゴリー表示画面)

INFORMATION

第22回ISRRT世界大会 開催される

2022年12月15日(木)から17日(土)までの3日間、The 22nd International Society of Radiographers and Radiological Technologists (ISRRT) World Congress (第22回世界診療放射線技師会世界大会)がタイのバンコクで開催されました。今回の世界大会は4年ぶりの対面開催であり、アジアの国々を中心に45カ国、約350人の外国人を含め約800人が参加しました。日本からは上田会長、児玉副会長をはじめ13人が参加しました。

大会初日は、Opening Ceremonyに引き続き、Tyrone Goh元ISRRT会長によるHutchinson Lectureがありました。Opening Ceremony終了後には、本会の海外研究者発表助成 (ISRRTでの研究発表)の対象になった3人の会員に対して、助成証書と助成金の贈呈を行いました。大会2日目からは、招待講演や特別講演、一般演題、企業発表などが開催され、児玉副会長が「Revision of the Radiological Technologist Act and Expansion of Practice in Japan」というタイトルで招待講演を行いました。また日本からも多くの招待講演や一般演題発表が行われ、会場から活発な質疑応答がなされました。大会最終日はClosing Ceremonyが行われ、次期大会の開催国であるデンマークによるプレゼンテーションも行われました。

今回の第23回世界診療放射線技師会世界大会 (ISRRT World Congress) は2024年6月13日(木)から16日(日)まで、デンマークのオルボー (Aalborg) で開催される予定です。会員の皆さまの積極的な参加をお願い致します。



Opening Ceremony



児玉副会長による招待講演



日本人参加者との記念撮影



Closing Ceremony

JART求人広告掲載について

会誌に掲載する診療放射線技師募集の求人広告を随時受け付けております。申込書ならびに募集要項につきましては、本会ホームページ (各種様式→その他) よりダウンロードしてご確認ください。

なお、掲載月の前月5日が掲載申し込みの締め切りとなっております。

INFORMATION

児玉副会長がISRRTの理事に選任される

The 22nd International Society of Radiographers and Radiological Technologists (ISRRT) World Congress (第22回ISRRT世界大会)の開催に先立ち、2022年12月13日(火)・14日(水)にISRRTの評議員会(Council Meeting)が開催されました。ISRRTの評議員会は2年に1度、ISRRT世界大会に合わせて開催されるISRRTの最高決定機関です。

今回の評議員会では、ISRRT理事による各種報告から始まり、新たなメンバー国(ブルンジ(Burundi)・モルディブ(Maldives)・ベナン(Benin))の承認、Keeping radiographers/radiological technologists in good mental health and free from burnout、The role of Radiographers/Radiological Technologists using Dual Energy X-Ray Absorptiometry (DXA)、The Entry Level Competency Requirements for Therapeutic-Radiographers/Radiological Technologistsの各ポジションステートメントの承認、World Health Organization (WHO)、International Atomic Energy Agency (IAEA)、International Society of Radiology (ISR)、International Commission on Radiological Protection (ICRP)、European Society of Radiology (ESR)、European Con-



今回選任されたISRRTの理事および委員

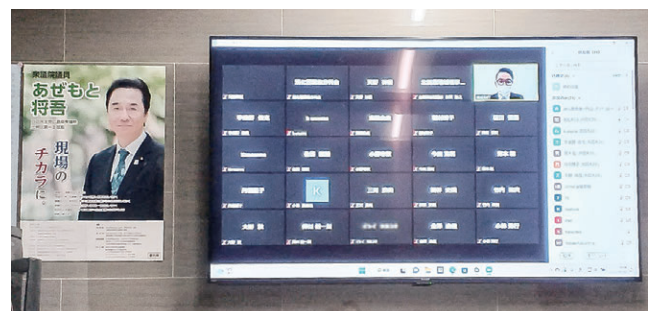
gress of Radiology (ECR)、Radiological Society of North America (RSNA)との連携および共同作業の報告がなされました。そして最後に、2022年から2026年までの理事および委員の選挙が実施されました。

理事選挙では、日本・タイ・シンガポール・インドネシア・スリランカからの推薦を受け、児玉副会長がAsia/AustralasiaのRegional director(地域理事)に選任されました。任期は2026年のISRRT世界大会までの約4年間です。日本からの理事選出は中村實元会長以来24年ぶりです。

2022年度 第2回消化管造影セミナー 開催される (Web開催)

2022年11月30日(水)午後7時より、2022年度第2回消化管造影セミナーがWebで開催されました。今回の消化管造影セミナーは透視検査における線量管理をテーマに行われました。

「診断参考レベルを用いた血管造影室での線量管理」について国立研究開発法人国立がん研究センター東病院の若松和行技師に、「透視検査における線量管理」について東海大学医学部附属八王子病院の青木聡技師に、「放射線線量構造化レポート(RDSR)について知る」について国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院の宇津野俊充技師に、それぞれご講演いただきました。近年の消化管造影セミナーでは初めて取り上げる内容でしたが、とても分かりやすく解説していただき、非常に有意義なセミナーとなりました。



今回の2022年度第3回消化管造影セミナーは2023年2月21日(火)に開催致しますので、引き続きよろしく願い致します。(報告者:消化管画像分科会 会長 みさと健和病院 安藤 健一)

2022年度 第2回 (第49回) 放射線取扱主任者 定期講習 開催される

2022年12月16日(金)、2022年度第2回(第49回)放射線取扱主任者定期講習が国立オリンピック記念青少年総合センターで開催されました。

本講習は、放射性同位元素等の規制に関する法律(昭和32年法律第167号、以下、RI法)第36条の2の規定に基づき、原子力規制委員会の登録を受けた公益社団法人日本診療放射線技師会(以下、本会)が行う放射線取扱主任者定期講習であり、RI法第34条に規定する放射線取扱主任者(許可廃棄業者は除く)、その他本講習に関心のある方など、15人が参加されました。

講習では、午前10時00分から午後0時10分まで株式会社千代田テクノル 遠藤正志先生による「法に関する課目」および「放射性同位元素又は放射線発生装置の取り扱いに係る事故が発生した場合の対応に関する課目」、午後1時10分から3時20分まで東京医科大学病院 筑間見比古先生による「放射性同位元素等又は放射線発生装置の取り扱い及び使用施設等又は廃棄物代替施設等の安全管理に関する課目」と題して講義が行われました。両先生方の講義には、法令改正の事項



である測定の信頼性確保に関する内容が含まれていました。

また最後の講義では、本会の主任者定期講習運営委員会の小野委員、谷委員、北村委員が講師を務め、RI法に基づく立ち入り検査などについて会場の受講者とディスカッションを行いました。立ち入り検査の内容だけではなく、さまざまな話題が取り上げられ、盛況のうちに閉会しました。

告示研修 開催報告

静岡県

公益社団法人静岡県放射線技師会 生涯教育委員 曾我 隆正

2022年12月10日(土)・11日(日)、藤枝市立総合病院において、静岡県としては令和4年度第7回・第8回となる告示研修(実技)を開催致しました。県内においても新型コロナウイルスの感染者が連日3千人を超える状況の中でしたが、10日は45人、11日は47人の受講者数でした。県内会員だけではなく千葉県・東京都・神奈川県・愛知県からも受講していただきました。もちろんJARTの会場型講習会等開催ガイドラインに基づいて、感染防止に努め最善の注意を払い開催しました。また十分な間隔が取れるように藤枝市立総合病院の講堂・多目的ホール・外来ロビーをお借りして実習を行いました。研修自体は大きな問題もなく無事に終了することができました。

県内での開催が8回目ともなると、ファシリテーターとスタッフは実習の運営と指導をスムーズに行えるようになりま



したが、前日の準備と終了後の片付けが夜遅くまでかかりますので、現在の県内のファシリテーターの人数では一人にかなりの負担が掛かってしまいます。また一人でも多くの方に受講していただくためにも開催回数を増やしていく計画でありますので、ファシリテーターの増員が急務です。今後も魅力ある研修会を開催していこうと思っておりますので、ご参加をお待ちしております。



広島県

公益社団法人広島県診療放射線技師会 ファシリテーター

2022年12月10日(土)・11日(日)、広島大学病院の臨床管理棟で告示研修(実技)が開催され、2日間で92人が受講しました(10日は48人(県内27人・県外21人)、11日は44人(県内36人・県外8人))。広島県では2022年は2月・3月に各1回、6月・8月・12月に各2回、合計8回開催してきました。現在までに315人の受講者が研修を終了しましたが、このうち4割近くを県外からの受講者が占めております。広島県の会員が受講を希望しても申し込みができないとのご意見があるため、地元枠のような受け入れがあればいいと思っています。実技研修は新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、JARTの会場型講習会等開催ガイドラインに沿って、今まで大きな問題もなく開催することができております。

実技研修は、私たちファシリテーター6人が事前に打ち合わせを行い、研修の担当を決めて臨んでいます。午前中の動画視聴開始と同時に設営の準備を始め、昼前に講師の先生方と打ち合わせを行います。開催回数を重ねるたびに準備もスムーズになり、研修や指導者側の手順、OJTの指導ポイントなどが整理できました。研修中にファシリテーターと受講者との区別がつかないことから、広島県ではファシリテーター専用スクラブを作製し購入してもらいました。よく目立つ上、気合いが入ります。

本県では、来年度も継続して年間8回開催する計画ですので、ぜひ、早めに計画を立てて受講してください。万全の準備をしてお待ちしております。



広島県ファシリテーター6人衆



実習風景：看護師講師による静脈穿刺デモンストレーション

岩手県

一般社団法人岩手県診療放射線技師会 教育委員 佐々木 忠司

2022年12月11日(日)、令和4年度第2回告示研修(実技)を盛岡赤十字病院で開催しました。会場が院内の講堂であり、開催するかどうかを判断する12月1日に新型コロナウイルス感染者数が2千人を超え、実効再生産数が1.065と全国で上位となりました。討議の結果、岩手県診療放射線技師会顧問の吉岡先生の後押しもあり、開催する運びとなりま

した。募集48人に対し53人の申し込みがありました。当日、新型コロナウイルス感染者・濃厚接触者が出て3人欠席となり、最終的に受講者は43人となりました。

開催に当たり、告示研修開催前後に開催関係者でWebミーティングを行っています。午前中のDVD視聴の講義室が午後の実習室になるため、第1回の反省を基に、効率よく準備を

進める必要がありました。模擬血液や水を使用する床には防水シートを使用せず、ブルーシートを使用することで準備時間の短縮になり、効率よく設営ができました。またテーブル配置の工夫によりファシリテーターの指示を効率よく受講者に指導できました。

またJARTの開催責任者を含めたスタッフの人数は、募集48人に対して、開催責任者1人、スタッフ1人、ファシリテーター6人でしたが、準備にかかる人員や会場が離れていることなどを考慮して、独自に岩手県診療放射線技師会枠を

設け、スタッフ1人とファシリテーター1人を増員することでスムーズな運営ができ、滞ることなく研修を終了しました。

開催側の意見として、コロナ禍でいつ何時、感染に見舞われかねないことを考慮して必要な対応を考慮しており、また開催準備や片付けに時間を要すること、他県から参加する方も数人いるため、現状の県技師会から出資したスタッフの増員分はJARTから何らかの補助が必要と考えます。

最後に、会場を提供していただいた盛岡赤十字病院の方々、開催関係者にこの場をお借りして感謝申し上げます。



和歌山県

一般社団法人和歌山県放射線技師会 会長 川合 久之

2022年12月18日(日)、本会としては3回目となる告示研修(実技)を、田辺市の紀南看護専門学校をお借りして開催しました。当日は今季一番の冷え込みとなり、和歌山県では珍しく雪のちらつく中での開催となりましたが、受講者45人全員が開催予定時間までに受け付けを済ませ、開始することができました。

回を重ねるごとにファシリテーターも手順を把握し、会場の準備、実習での適切な指導といった具合に各自の役割をこなし、スムーズにプログラムを進行することができました。またいつもなら準備より時間を要する後片付けも、今回は、隣接する紀南病院の会員の方々の協力を得て迅速に終わるこ

とができました。お手伝いをしてくださった皆さまには、この場をお借りしてお礼申し上げます。

和歌山県は南北に長く、端から端までの移動に3時間以上かかります。今回はほぼ中間地点の場所で開催することができましたので、近くの方々の受講が多くあり、意義があったように思います。受講者の移動の負担を軽減し、できるだけ居住地域で受講できるシステム作りが必要と考えます。また人員を増員することでファシリテーターの負担も軽くしていきたいところです。よりスムーズに、一人でも多くの方々に受講していただけるよう継続していきたいと思ひます。



レントゲン週間 イベント開催される



本会では、1895年11月8日のW. C. レントゲン博士によるX線発見を記念し、毎年11月2日～11月8日の一週間を『レントゲン週間』と制定しています。

この『レントゲン週間』にちなみ、放射線の専門家として正しい知識を国民に伝えるとともに、私たちの仕事を知っていただくためのイベントとして、本年度も各県（診療）放射線技師会の協力を得て、各地でさまざまなイベントが開催されました。

OSAKA

令和4年度 府民公開講座

2022年10月1日（土）、令和4年度大阪府診療放射線技師会のレントゲン週間イベントとして「がんを経験した医療者が考えるがんとの付き合い方!」というテーマで、府民公開講座を開催しました。大阪府民および近隣在住の方々の健康増進と放射線診療の正しい知識の普及を目的としておりますが、2020年はコロナ禍のあおりを受けて中止、2021年は当初ハイブリッド方式で企画していましたが、感染状況を鑑みWeb配信のみでの開催となっていました。感染者数が下がり切らない中で、今回、3年ぶりの集客型ということもあり、皆さまに参加いただけるのか不安でしたが、多くの府民の方々にご参加いただき、そのような不安も杞憂に終わりました。

1人目は、「がん治療を行っている技師が考える、放射線との付き合い方」と題する、本会学術部委員中原隆太氏の講演で、内容は「放射線」がどのようなもので、どのように治療に生かされているのか、特性も踏まえたものでした。

2人目は、堺市立総合医療センター 放射線技術科診療放射線技師 林祐樹氏より、教育講演「僕とがんとの20年～病気から感じ得たこと～」と題して、中学・高校時代に2度「骨肉腫」の治療を受けた闘病の経験や、家族とのさまざまなエピソードをお話しいただきました。

3人目は、わしおこども医院 小児科専門医 楠木重範氏より、特別講演「がん医療における心理社会的課題について」として、中学生のときに「悪性リンパ腫」を発症されてからの、家族に関することや受験に関することをお話しいただきました。病気に対してフォローアップすることの難しさを社会的



会場風景 (左端は林祐樹氏)

な問題点として挙げられており、もっと社会的な理解が進むことを望まれていました。また楠木氏は、チャイルド・ケモ・ハウス活動や、全ての子どもや若者が自分の人生を肯定できる社会をつくるため「TEAM NEXT GOAL」という事業も立ち上げられており、



楠木重範氏

病気や障害を経験した子ども、貧困家庭で育つ子ども、虐待を受けている子どもなども含め、もっと関心を持ってもらえればと精力的に活動を続けておられます。

講演を通して、病気と闘われている方々への言動や接し方などを、見つめ直す良い機会となりました。

この場をお借りして、ご尽力いただきました方々へ感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

(公益社団法人大阪府診療放射線技師会)



INFORMATION

第4回 第39回日本診療放射線技師学術大会 (39th JCRT)
第30回東アジア学術交流大会 (30th EACRT)

熊本への道 Go To KUMAMOTO

副会長 沖川 隆志
(一般社団法人熊本県放射線技師会)

熊本ゆかりの偉人

前は、大会会場となる熊本城ホール周囲の魅力的な観光スポットをご紹介しました。今回は、熊本にゆかりのある偉人についてご紹介します。

1896 (明治29) 年4月13日、鹿児島本線池田停車場 (現在の熊本駅) に一人の英語教師が降り立ちました。その男こそが若き日の夏目漱石です。彼は旧制第五高等学校に向かう高台で、「熊本は森の都だなあ」と口にしたと伝えられています。漱石は4年と3カ月を熊本の地で過ごし、その後、ロンドンに留学しました。2年間のロンドン留学から帰国した3年後に、「山路を登りながら、こう考えた。智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。とかく兎角に人の世は住みにくい」——で始まる、名作『草枕』が誕生しました。今までに目を通された方は多いと思いますが、電子ブックを手にして、熊本への道を楽しみにしていただければ幸いです。

感染状況の悪化に伴い、計画の変更を余儀なくされる可能性はまだゼロではありませんが、実行委員一同、計画通り成し遂げられると信じ、皆さまの記憶に残る学会になるよう、おもてなしの精神で準備を進めております。ぜひとも現地熊本にご参集賜りますようお願い申し上げます。



漱石が降車したとされる旧上熊本駅舎 (移築)



2015年に新築された駅舎



第39回 39th Japan Conference of Radiological Technologists

日本診療放射線技師学術大会

会期 | 2023年9月29日[金]～10月1日[日]

会場 | 熊本城ホール
[ハイブリッド開催]
〒860-0805 熊本県熊本市中央区桜町3-40

会長 | 上田 克彦
[公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長]

大会長 | 西小野 昭人
[一般社団法人 熊本県放射線技師会 会長]

主催 | 公益社団法人 日本診療放射線技師会

共催 | 一般社団法人 熊本県放射線技師会

後援 (予定) | 厚生労働省 / 日本放射線技術学会
熊本県 / 熊本市

～タスク・シフト/シェアに伴う業務拡大を推進しよう～

復興の地から はじまる

技術革新



©尾田栄一郎・集英社

熊本地震から復興に向かう熊本に対して尾田栄一郎氏から「必ず助けに行く」というメッセージをいただき「ONE PIECE 熊本復興プロジェクト」が立ち上がりました。復興が進む熊本で学術大会を開催するにあたり、地震からの復興を応援するために「ONE PIECE 変わらの一味」の銅像を使用させていただきました。

大会事務局



一般社団法人熊本県放射線技師会

〒861-8528 熊本県熊本市東区長嶺南2-1-1 日本赤十字社熊本健康管理センター 放射線課内 TEL・FAX (096)386-1388

皇帝ダリアに思う



皆さま、皇帝ダリアという花をご存じでしょうか。キク科でダリア属の花で薄紫色のきれいな花を咲かせます。特徴は大きく成長することで、通常でも2~3m程度の丈になり、よく成長すると5mに達するものもあります。わが家の庭でも毎年きれいな花を咲かせてくれています。

皇帝ダリアは、日が短くならないと花芽ができませんので、開花期が遅く11月下旬から咲き出します。背丈が高いため2階の窓から見てちょうどいい高さで花を楽しめるようになりますが、草丈を高くしたくない場合は、株が成長し1mを超えたところで、枝を短く切って草丈を調節していきます。切った部分から枝分かれが起こり、それに伴い花芽もたくさんつき、晩秋にはきれいな花をたくさん鑑賞することができます。しかし、剪定が遅いと花芽をつけることができなくなるので、剪定時期には注意する必要があります。

そういう中で、われわれ診療放射線技師の業務について、皇帝ダリアの成長と何か重なるように感じました。独占業務である放射線の照射だけでも花は咲くかもしれません。しかし、現

在の業務拡大はちょうど草丈を剪定してもらった状態ではないのかと思うところです。これから別の枝を伸ばし、たくさんの花を人から見やすい位置に咲かせるべく、全ての診療放射線技師が告示研修を終え、実際の臨床で静脈路の確保などの新しい業務を行うことが日常的になれば、きっと診療放射線技師の大きな花がたくさん咲き誇ることでしょう。チャンスの時期を逃し、花を咲かすことができなくなってしまうように準備と行動を起こさなければと切に思うこの頃です。

ところで、秋にたくさんの花を咲かせたわが家の皇帝ダリアはというと、冬となった現在は春の芽吹きのために、地面の下でしっかりと準備をしています。(文責：西小野 昭人)



2月・3月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

- マネジメント研修会： 東京 2023年2月19日(日)
- 消化管造影セミナー： Web開催 2023年2月21日(火)

※このご案内の公開時に、定員に達して申し込みができない講習会・セミナーがある場合がございますのでご了承ください。

[e-ラーニング (ストリーミング方式)]

- 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針オンラインセミナー 配信を再開しました。
- 告示研修 (基礎研修) 2021年7月31日(土) 午前0時から申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から告示研修終了まで何度でも視聴いただけます。

JARTISから領収書の発行が可能になりました!

INFORMATION

会費、講習会、セミナー、学術大会の費用・参加費について、会員ご本人による領収書の発行が会員情報システム(JARTIS) から可能になりました。詳細は、会誌2月号P16・お知らせをご参照ください。

事務所案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。
ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日(7月13日)および年末年始(12月29日~1月3日)は執務致しません。